

kintone 寿司職人養成塾事業管理システム

教育事業拡大に伴う業務基盤の見直し 塾生・進捗・就職情報の一元管理で運営効率と教育品質を向上

教育事業の拡大に伴い、塾生情報や教育カリキュラム、進捗状況、就職先情報を一元管理し、運営体制を見直したい。
すし店として寿司職人養成塾事業を展開するS社様は、このような狙いで、「kintone 寿司職人養成塾事業管理システム」の導入を決めました。
導入により、拡大する事業規模に対応した情報管理体制が整い、塾生情報や進捗状況を正確に把握できるようになりました。また、教育状況の見える化により、運営効率の向上と教育品質の安定化を同時に実現しています。

課題

事業拡大に伴い情報管理体制を整備したい

教育進捗を把握し運営を改善したい

情報一元化により運営基盤を強化！

進捗可視化により教育品質を向上！

効果

背景と課題

事業拡大に伴う管理体制の限界

養成塾事業の拡大に伴い、塾生数や取り扱う情報量が増えてきた中で、これまでの管理方法では限界を感じるようになってきました。

塾生の情報や教育カリキュラム、進捗状況などを一元的に管理する仕組みがなかったため、情報の正確性や更新状況を把握することができず、どの情報が最新なのか判断できない場面がありました。

また、教育カリキュラムの進捗についても全体を把握する手段がなく、塾生ごとの状況確認に時間がかかっていました。情報の保管場所やアクセス方法も明確ではなかったため、必要な情報を探す手間が増え、業務全体の効率低下につながっていました。

事業の拡大に伴い、こうした状況を解消するためには、情報を一元管理できるシステムの導入が必要であると感じていました。

選定と導入

kintoneによる情報一元管理の実現

今回の取り組みでは、塾生情報や教育カリキュラム、進捗状況、就職先情報などを一元的に管理できるシステムの導入を重視していました。

そうした中で、スターシステム様から、kintoneを活用したシステム構築のご提案をいただきました。提案を受けて良いと感じたのは、分散していた情報を一つのシステムに集約し、必要な情報をすぐに確認できるようになる点でした。

また、kintoneは柔軟にアプリを構築できるため、塾生管理、教育コース管理、進捗管理、就職先管理といった必要な情報を一元的に管理できる点にも魅力を感じました。シンプルな構成でありながら、必要な情報を整理して扱えることが、導入の決め手になりました。

さらに、社員マスタ、塾生マスタ、教育コースマスタ、進捗管理、就職先管理といったアプリを整備することで、情報を体系的に管理できる環境を構築していただきました。

成果と今後

拡大に対応する運営基盤の確立

導入後は、塾生情報や教育カリキュラム、進捗状況、就職先情報を一元的に管理できるようになり、事業拡大に対応できる運営基盤が整いました。情報の整理と共有がスムーズになり、運営の安定性が大きく向上したと感じています。

また、進捗状況を把握できるようになったことで、教育内容の改善やフォローも行いやすくなり、教育の質も安定してきました。

今後は、蓄積されたデータを活用しながら、より効率的で質の高い教育体制を構築していきたいと考えています。事業のさらなる拡大に向けて、今回整備した基盤を活かしながら、継続的な改善を進めていきたいと思っています。